

2024（令和6）年度 高砂小学校教育目標

心身共に健康で自ら考え、正しく判断し、
自主的で創造性豊かな児童を育成する

学校教育目標 （目指す子ども像）

- ・た 他を思いやる子
- ・か 体をきたえ、安全に過ごせる子
- ・す 進んで学び、深く考える子
- ・な 仲良く力を合わせ、最後までやりぬく子

学校経営方針 「非認知能力の育成を大切にした教育活動の実践」

学校経営の努力点 < 信頼される学校づくりに向けて >

学校教育目標を具現化するために、次の事項を学校経営の努力点とする。

あわせて全教職員が「チーム」意識をもって学校経営に参画し、日々の教育活動に協働してあたることによって、高砂の子どもや保護者、地域の人たちの信頼に応えていく。

1) 学校教育目標の具現化に向けたカリキュラム・マネジメント 「高砂の教育課程」を編成し、よりよい授業実践をすすめる。

- ① 地域の特徴を生かし、SDGsの視点も取り入れ、6年間の学びを見通した特色ある教育活動を推進するためのカリキュラム・マネジメントを進め、授業を通して検証する。
- ② 子どもの発達段階に応じた学習内容の指導と評価方法を工夫し、授業実践を行う。
- ③ 子どもが自ら学び、自ら考える力を育てるために、体験的な学習や課題解決的な学習を多く取り入れた学習活動を行う。また、授業を通して、子どもの自主性・豊かな想像力、表現力・感性、粘り強く取り組む力などを育む。

2) 学校生活の基礎となる学級・学年づくりを重視する。

- ① 児童に学級や学年を構成する集団の一員であるという自覚を持たせたり、社会性を身につけさせたりするとともに自分も、他者も大切にできる児童を育てる。
- ② 特別な支援を必要とする児童などについて、全教職員で共通理解をもって指導にあたる。（児童指導担当教諭を中心とした支援体制を生かす。）
- ③ 学校教育目標を鑑み、各発達段階にふさわしい学年目標・学級目標を設

定して指導に努める。各担任は自分の学級のことだけではなく、学年担任という意識をもって児童の理解や指導にあたる。

3) 教師としての識見や専門性を高めるため、研鑽に努め、力量の向上を図る。

- ① 個々の教職員の特性を生かし、校務分掌を組織し、協働して教育活動にあたり、「高砂の学校力」の強化につなげる。
- ② 校内研究や校内研修を活性化させ、同僚性を高め、指導力向上に努める。各種研究会や研修会への参加を促し、資質の向上を目指す。
- ③ 学習指導要領の内容はもとより、今日的な教育的課題を踏まえて日々の教育活動にあたる。
- ④ 教育公務員としての自覚と責任を持ち、常に信頼を得られる言動に努める。

4) 児童の健康の維持・増進、食育や安全指導の充実と危機管理体制の強化に努める。

- ① 自他の生命の尊重、健康の維持・増進については、食育も含め、児童の発達段階に応じて適切な指導を行う。
- ② 校舎内外の環境整備に努め、安全で機能的な環境づくりを図る。
- ③ 危機管理体制を強化し、災害や緊急時だけでなく、防犯など日々の学校生活における意識を高め、安全性の向上に努める。
- ④ 感染症対策やけがの防止に努め、常に健康や安全に留意し教育活動を計画・実施する。

5) 地域に開かれた学校づくりに努める。

- ① 学校から情報を発信し、保護者や地域の理解や協力を得るよう努める。
- ② 開かれた学校づくりのため、学校教育活動を保護者や地域に公開する。
- ③ 地域の幼稚園・保育園や小・中学校、高校、大学、企業、地域協力者などと、可能な範囲で連携した活動を計画・実施する。
- ④ 地域行事などへの参加や協力を通して、地域との連携を深める。
- ⑤ 学校運営協議会の活動を検討し、学校教育活動に生かす。

6) 個に応じた指導・支援の充実に努める。

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実に努める。
- ② 外部関連機関との連携や協力を指導や支援に生かす。
- ③ 個別指導・支援やティームティーチング（T・T）を取り入れ、児童の学習を支援する。
- ④ 基礎的な学習基盤づくりを家庭と協力し進めていく。